



図書だより

英真学園高等学校 図書室 2015年 9月号

いよいよ二学期が始まりました。夏休み中に何か一冊本を読むことができたでしょうか。図書室にも休みに話題の本、新しい本がたくさん届きました。ぜひ、借りに来て下さいね。

●新着図書のお知らせ

『火花』(又吉直樹)

笑いとは何か、人間とは何かを描ききったデビュー小説。売れない芸人徳永は、師として仰ぐべき先輩神谷に出会った。そのお笑い哲学に心を奪われながらも別の道を歩む徳永。二人の人生はどう変転していくのか？ 第153回芥川賞受賞作品。



『「今読みたい」日本文学講座』(林修)

テレビでも大活躍している現代文講師のカリスマが、短篇小说の名作を厳選。本書一冊で、宮沢賢治、夏目漱石、芥川龍之介、志賀直哉、太宰治など、8人の作家の15の作品を読むことができる。読書好きにも、これから読書に挑戦してみたい人にもオススメの一冊。



『精霊の守り人』(上橋菜穂子)

女用心棒バルサを主人公に、人の世界と精霊の世界を描いたハイファンタジー。100年に一度卵を産む精霊に卵を産みつけられ、〈精霊の守り人〉としての運命を背負わされた王子を守るためバルサは戦い続ける。野間児童文芸賞新人賞・産経児童出版文化賞・ニッポン放送賞・路傍の石文学賞を受賞した作品。



『受験脳の作り方』(池谷裕二)

「海馬」は記憶を司る部位。だが、脳は蓄えるよりも忘れていくほうが多いのだ。試験前に徹夜で詰め込んだ記憶は、あっけなく消えていく。しかし、興味があるものはすぐに覚えられし、バイオリズムのタイミングをつかめば、記憶効率は上がる。海馬、扁桃体、LTP等々、脳の働きを正しく理解して、恐れず受験に挑む！気鋭の脳研究者が考える学習法。



『ある日アヒルバス』(山本幸久)

アヒルバス入社五年の観光バスガイド・高松秀子(通称デコ)はわがままツアー客に振り回されたり、いきなり新人研修の教育係にされたりと悩み多きお仕事の毎日。笑いあり、感動ありのバスガイド物語。NHKにてドラマ化された作品。



●寄贈図書のお知らせ

『カレイドスコープの箱庭』(海堂尊)、『翼ある闇』(麻耶雄嵩)



『狛犬ジョンの軌跡』(垣根涼介)、『憂いなき街』(佐々木譲)



